

第一提案審査に係る指摘事項等

■事前に確認すべき質問事項および指摘事項（青山延伸に係る事項）

1-1 全体について

No	質問および指摘事項
1	<p>○青山延伸を含めたBRT導入における全体的な考えの中で、以下の点についての考えを示すこと。</p> <ul style="list-style-type: none">・青山までの延伸と、これまでオムニバスタウン事業等で整備に取り組んできた基幹公共交通軸の強化との整合性をどのように考えているか。・青山まで延伸しても、平成26年度BRT導入は可能と考えているか。・第二期（鳥屋野潟南部地域への延伸）およびそれ以降の基幹公共交通軸の形成に向けた取り組みを積極的に進めていく考えはあるか。

1-2 計画の詳細について

No	質問および指摘事項
2	<p>○本事業の実施要領に求めているデータを含め、新潟駅～白山駅にBRTを導入した場合と、貴社提案の青山延伸案との比較（メリット、デメリット）を以下の視点で整理し、総合的にみて青山延伸案が優れているかどうかを示すこと。</p> <p>【視点】利用者へのサービス水準（所要時間、定時性など）、得られる効果（郊外路線の強化、まちなかへの影響等）、事業費、採算性、実現性、費用等</p>
3	<p>○青山延伸案、白山駅案の両案について、バス路線再編による路線網の変化（どの方面の路線がどの結節点で乗り継ぎを行うか等）がわかるような地図ベースの全体図面を提出すること。</p>
4	<p>○青山の結節点における乗継環境を具体的にどう確保する考えかを示すこと。（場所、仕様、利用環境（動線、待合場所等）、用地の調整、整備費用、役割分担、実現可能性、想定される課題（交通処理等）など）</p>
5	<p>○その他、青山延伸を含めたBRTの運行計画の中で、以下の点についての貴社の考えを示すこと。</p> <ul style="list-style-type: none">・白山駅前広場への乗り入れを行うか。・BRTの表定速度はどのくらいの設定が可能と考えているか。・白山駅から青山地区までの走行環境について、どのような前提で提案をしているか。・ピーク時間におけるBRTの運行頻度を確保するために、与条件での8台に加え、どのように車両を確保、運用する考えか。 (連節車両を追加し運行もしくは既存バスを含めた車両で運行、など)
6	<p>○BRTの想定利用者数とBRTに乗換する想定利用者数を示すこと。その際に、現在提案されている輸送力によって対応できるのか。出来る場合はその根拠を示すこと。（特にピーク時対応）</p>

■審査に関する質問事項および指摘事項（青山延伸に係らない事項）

2-1 全体について

No	質問および指摘事項
1	○今回のBRT導入が、持続可能なまちづくりに向け、果たす役割をどう捉えているか、交通事業者の視点で具体的に示すこと。
2	○本事業を成立させるために交通事業者としてどのように取り組んでいく考えか、様式3に記述を追加すること。
3	○これまで新潟市とともに取り組んできた社会実験（ワンコインバス、週末深夜バスなど）など、これまでの成果をどのように捉え、計画に反映させているか示すこと。
4	○BRTを公設民営方式で導入することで利用者（市民等）や行政にとってのメリットがどの部分に出てくる計画となっているか、具体的に示すこと。
5	○サービス内容の継続性についてどのように担保する考えか。説明を加えること。

2-2 運行計画について

【BRT運行計画について】

No	質問および指摘事項
6	○BRTの収支に関する数値の具体的根拠を示すこと。特に、運行経費が収入より大きい点に関して、事業の実施、継続についてどのように取り組んでいく考えか、具体的に示すこと。
7	○BRTに関する運行経費キロ単価が通常のバス路線とほとんど変わっていないが、運行経費の内訳を提示するとともに、算出根拠を示すこと。
8	○現況の都心軸内々利用者数を提示し、それと想定利用者数の比較を示すとともに、需要予測の根拠を示すこと。
9	○平日に対する休日のサービス水準設定の考え方を示すこと。
10	○乗継制度について具体的な考え方（対象者、具体の割引内容等）を示すこと。（ICカード利用者、現金利用者、BRTと他路線との乗継、BRT以外の路線同士の乗継など） ○ICカードを利用しない乗客への乗り継ぎをどのように行うのか示すこと。
11	○まちなかにおいて、運賃設定が現行と変わっていないが、割引制度（土日ワンコインなど）の拡充によるサービス向上の取り組みの可能性の有無と、有る場合はその内容を示すこと。
12	○BRT導入による路線バスの料金体系の変更方針を示すこと。 ○深夜割増、支払方法についての考え方を可能な範囲で示すこと。 ・深夜割増運賃について、深夜料金の時間帯と割増率をどのように考えているか。 ・乗車時支払、降車時支払のどちらを考えているか。

【バス路線再編について】

No	質問および指摘事項
13	○①現況、②平成26年度、③導入から5年後（契約終了段階）、④バス路線再編の完了時点のそれぞれで、下記の内容について示すこと。 ・バス路線再編の方針（幹線・支線・フィーダーの位置付け、フィーダー路線の確保に向けた具体的な取り組み内容） ・それぞれの段階での運賃制度等のイメージ ・様式5の図をベースにまとめたもの。具体的にはそれぞれの段階について、個別路線の表と対応した都心軸や各方面別の運行本数、都心軸の断面における本数（一般道と専用走行路を分けて）を把握できる図を作成し、比較ができるもの。
14	○バス路線再編の効果について、市民目線でもわかりやすくイメージが持てるような資料を様々な視点から具体的に示すこと。（移動環境の変化によるライフスタイルの改善イメージ等）
15	○事業者が行うべきハードの整備までを自治体に委ねているように見える。自治体と事業者の整備負担の考え方を明確に示すこと。

16	○得られる効果（余剰の創出など）なども含め、BRTに伴い必要となるバス路線再編と、それに関わらず新潟交通独自事業として取り組むバス路線再編に分けて示すこと。
17	○BRT導入によって得られる余剰分の分配（路線別の分配先等）について、どのような考えに基づき設定したか、効率化した余剰の発生量と、分配量と分配先について具体的に示すこと。
18	○減便（りゅうとリンクの一部）や廃止（美術館線，がんセンター線），経路変更（松浜線等）する路線について、どのような基準で判断しているか（現行路線・系統自体の適否について検討した結果なのか）示すこと。また、これによる現在の利用者への予測される影響と対応方針について示すこと。
19	○西小針線等直通運行する路線について、将来的にどのように取り扱う計画なのか。（乗換の有無等）
20	○都心部において専用走行路を走行する路線と一般道を走行する路線をそれぞれ示すこと。

【乗換施設について】

No	質問および指摘事項
21	○青山延伸の場合において、与条件で交通結節点として設定している新潟駅，市役所，白山駅に求められる結節機能は具体的にどのようなもの（モード，路線 等）と捉えているか。

【車両基地について】

No	質問および指摘事項
22	○車両基地を西部営業所にした理由は何か，また都心軸により近い基地を事業者として設定する可能性はないか。見解を述べること。
23	○西部営業所については，一部借地となっているが，恒久的な利用は可能か。可能な場合はその根拠を示すこと。
24	○連節バスの必要台数分（新潟市想定8台であるが新潟交通提案の12台分の場合も含めて）のスペース確保は可能か。可能な場合はその根拠を具体的に示すこと。
25	○メンテナンスに必要な設備とその調達方法（設置主体）を示すこと。

【その他】

No	質問および指摘事項
26	○降積雪時の対応など安全管理について，交通事業者として取り組むことが出来る対策があれば可能な範囲で示すこと。（特にBRT区間の島式バス停周辺の安全管理など）
27	○接客，サービスなどに係る品質確保の効果的な仕組みを考えているか。あれば具体的に示すこと。
28	○ドライブレコーダーによる定時性確保など，これまでのサービス向上の取り組みによる実績を示すこと。（これまで，デジタルタコグラフ，ドライブレコーダーによる安全運転教育等，安全管理体制の向上に向けた具体的な取り組み内容と，それによる効果の有無）

2-3 経営等について

No	質問および指摘事項
29	○事業者として新たな投資があれば，必要な事柄及び予想される金額を示すこと。
30	○公設民営で行うBRT事業に関する収支の独立性を確保する必要があるため，行政がBRT事業の収支を確認できるスキームを示すこと。（BRT事業部創設など）
31	○BRTと路線バスの補完・培養関係がどの程度需要見込みに反映されているのか，明確に示すこと。
32	○本事業による乗務員の増減，新規採用の必要性とそのボリューム，BRTの配置にともなう営業所間の担当替えなどによる効率化の可能性，それらによるコストの増減などが出てくるのか，具体的に示すこと。
33	○BRTおよび路線バスそれぞれの想定利用者数において，自動車からの転換をどのくらい見込んでいるか示すこと。